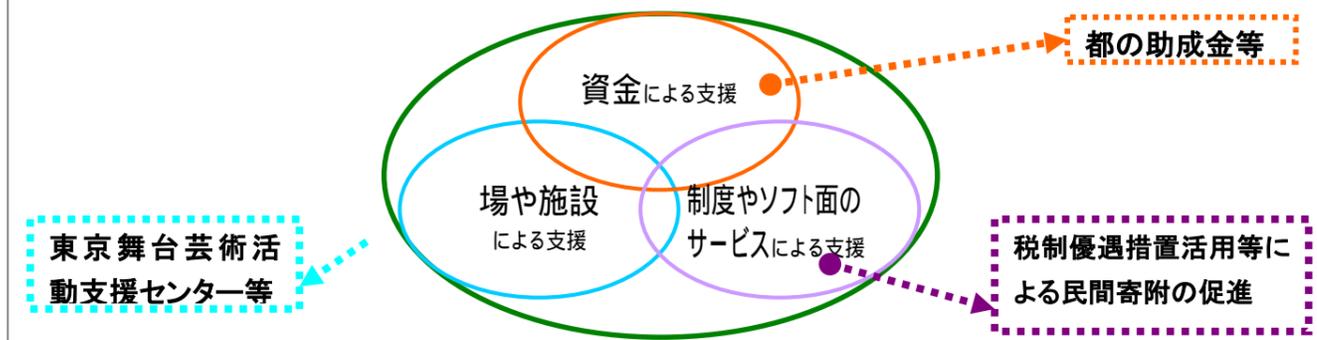


民間寄附を促進する新たな仕組みづくり ~ TOKYO ARTS FUNDの設立 ~ (案)

文化芸術活動支援を取り巻く問題点

資金面・・・非営利の民間芸術文化団体等の経済的基盤が脆弱。国や地方自治体等の助成制度にも限界がある。東京はあらゆるコストが高い。
 制作・創作活動の場・・・鑑賞のためのホールなどに対して創造のための場が不足。
 制度やソフト面・・・諸外国に比べても民間寄附の少なさが際立つ。
 民間芸術文化団体等が必要とする情報の提供など中間支援的なサービスが不足。

新たな芸術文化支援策のあり方 - 3つの基本フレームに沿った施策



民間寄附を促進する新たな仕組みづくり

芸術文化創造活動へ総合的な支援の一環として、
 3つの支援が相互に連携した

民間寄附を促進する新たな仕組みづくり

TOKYO ARTS FUND

民間寄附促進の意義

公的助成金に加え、市民や企業による寄附促進により、芸術文化創造活動を広く社会で支える
 寄附が非営利の芸術文化創造活動に対する市民や企業の参加や意思表示の手段となる

TOKYO ARTS FUND の機能

機能①民間寄附の受け皿 + 「支援活動」として選定した活動への寄附金配分機能

公益財団等に寄附を行うと、税制上の優遇措置を受けることができる。このメリットを活用するため、TOKYO ARTS FUND を公益財団等に設置し、個人・法人から寄附金を受け入れる

- 1) 寄附先となる芸術文化活動を TOKYO ARTS FUND 支援事業として選定し、寄附者は TOKYO ARTS FUND を通じて、選定を受けた活動に対し寄附
- 2) 寄附者の希望に応じて個別の基金も設置できるようにし、寄附先となる芸術文化活動の選定、基金の管理・運用も行う

機能②都の支援プログラム（助成金 + 場 + 情報）の運営機能

- ・ 都の助成金などの「資金による支援」や都立文化施設（東京舞台芸術活動支援センター等）の活用などの「場や施設による支援」とも連携して運営することで支援強化
- ・ 一定の民間資金の調達を条件として助成をする「マッチング・グラント」の考え方の導入により、民間寄附を促進

機能③非営利の民間芸術文化団体等に対する寄附を促進するための機能

- ・ 公的助成、民間寄附金等の資金獲得のためのスキル向上、芸術文化団体の公益法人化や認定NPO法人化、マネジメント高度化をサポート
- ・ 寄附文化醸成のための普及啓発活動

TOKYO ARTS FUND の今後の検討課題

制度設計

- (1) 支援事業の選定にあたり、公益財団等が公益性を確保するための制度設計
例) 選定体制、選定基準の設定、選定委員会の設置
- (2) 寄附金を受けた活動の成果・効果測定
- (3) 寄附者の意向を反映できる仕組みづくり 例) 希望の団体、分野、活動への寄附
- (4) 寄附のインセンティブを高める仕組みづくり 例) 寄附者への特典、貢献の可視化

設置先
 公益財団等

国への要望

民間から民間への寄附の促進のため、寄附に対する税制優遇措置拡充などについて国に要望

評議会からの『国及び都の文化政策に関する提言』に反映